

# 愛知県・バンコク都 高校生交流事業 実施結果報告書



受入期間：平成 25 年 4 月 17 日-22 日

愛知県地域振興部国際課

## 報告書目次

バンコク都高校生訪問団一行名簿	1
バンコク都高校生訪問団 受入スケジュール	2
第1日目（4月17日（水））	3
オリエンテーション	
知事表敬訪問	
名古屋城見学、意見交換	
日泰寺見学	
名古屋大学訪問	
第2日目（4月18日（木））	9
岡崎高校訪問	
第3日目（4月19日（金））	13
岡崎市長表敬訪問	
岡崎公園見学	
八丁味噌の郷見学	
株式会社マキタ訪問	
歓迎レセプション	
第4日目、第5日目（4月20日（土）、21日（日））	17
ホームステイ	
第6日目（4月22日（月））	17
帰国	
「愛知県・バンコク都 高校生交流事業」参加者アンケート	18
「愛知県・バンコク都 高校生交流事業」参加者アンケート回答まとめ	20
岡崎高校アンケート	23
岡崎高校アンケート回答まとめ	24

## バンコク都高校生訪問団一行名簿

### バンコク都庁国際課 (3名)

ノンラック・タムスワン

Ms. Nongluck Tamsuwan

ポンナリン・コンチョー

Mr. Phongnarin Khongchoo

ロスコーン・チャートプラセート

Mrs. Rossucone Chartprasert

バンコク都国際課長

Director, International Affairs Division (IAD)

Bangkok Metropolitan Administration (BMA)

バンコク都国際課 外交事務官

Foreign Relations Officer, IAD, BMA

バンコク都国際課 外交事務官

Foreign Relations Officer, IAD, BMA

### 生徒 (10名) ※括弧内は年齢

ナット・チャネキティワラーポン (18)

Mr. Nut Janekitiworapong

ワスポン・ロチャナシリパンヤクン (17)

Mr. Wasupol Rojanasiripanyakul

ワチャラウィー・ウィーラウーッティーラチョット (17)

Ms. Wacharavee Veeravoodteerachot

ペーワ・テーチャマハモンコン (17)

Ms. Paewa Taechamahamongkol

ダルンラット・ポーラナワッタナクン (16)

Ms. Darunrat Pooranawattanakul

パウイダー・チャローンムアン (18)

Ms. Pawida Charoenmuang

チャナナーン・キッティスバン (17)

Ms. Chananan Kittisuban

ウェラパット・サシサクンポー (17)

Mr. Werapat Sasisakulporn

チャナカーン・キッティチャルチット (18)

Ms. Chanakan Kittijarujit

タナドゥン・ロヒッタッタナー (15)

Mr. Thanadul Rohitrattana

### (学校名)

スアंकラーブ・ウィッタヤライ

Suan Kularp Wittayalai

トリーアム・ウドムスックサー

Triam Udom Suksa

トリーアム・ウドムスックサー

Triam Udom Suksa

トリーアム・ウドムスックサー

Triam Udom Suksa

シュルーズベリー・インターナショナルスクール

Shrewsbury International of Bangkok

トリーアム・ウドムスックサー

Triam Udom Suksa

マッタヨム・ワット・シン

Mattayom Wat Singh

トリーアム・ウドムスックサー

Triam Udom Suksa

トリーアム・ウドムスックサー

Triam Udom Suksa

ボディンデーチャー

Bodindecha

バンコク都高校生訪問団 受入スケジュール

日付	スケジュール
4/17 (水)	<p>8:00 名古屋着 (TG644)</p> <p>10:00-11:00 オリエンテーション (県の概要説明等)</p> <p>11:30-11:50 知事表敬</p> <p>12:00-12:50 昼食</p> <p>13:00-14:00 名古屋城見学 (生徒) 意見交換 (バンコク都国際課職員)</p> <p>14:20-15:00 日泰寺見学</p> <p>15:30-17:00 名古屋大学訪問</p> <p style="text-align: right;">&lt;宿泊: アイリス愛知&gt;</p>
4/18 (木)	<p>9:30 ホテル発→岡崎へ移動</p> <p>11:00-17:00 岡崎高校訪問 (体験授業、生徒との交流、部活動見学等)</p> <p style="text-align: right;">&lt;宿泊: 岡崎オーワホテル&gt;</p>
4/19 (金)	<p>10:00-10:30 岡崎市長表敬</p> <p>10:45-12:20 岡崎公園視察</p> <p>12:20-13:20 昼食 (岡崎公園内)</p> <p>13:30-14:20 八丁味噌の郷 見学</p> <p>15:00-16:30 株式会社マキタ訪問、見学</p> <p>18:00-19:30 歓迎レセプション</p> <p style="text-align: right;">&lt;宿泊: 生徒はホームステイ、引率者はアイリス愛知&gt;</p>
4/20 (土)	<p>終日 ホストファミリーとの交流</p> <p style="text-align: right;">&lt;宿泊: 生徒はホームステイ、引率者はアイリス愛知&gt;</p>
4/21 (日)	<p>終日 ホストファミリーとの交流</p> <p>19:30 アイリス愛知集合</p> <p style="text-align: right;">&lt;宿泊: アイリス愛知&gt;</p>
4/22 (月)	<p>11:00 名古屋発 (TG645)</p>

## 第1日目 4月17日（水）

・来日（TG644）、愛知県庁へ移動

### ・10:00-11:00 オリエンテーション

- 1 場 所 特別会議室
- 2 本県出席者 兼松課長、佐治課長補佐、矢嶋主任、植村主任、虎谷主事
- 3 内 容  
課長挨拶、バンコク都課長挨拶、自己紹介、県概要説明、日程説明、質疑応答

#### 【主な質疑応答内容】

- 訪問団 愛知県内には自然の名所やさかんな芸術があるか。
- 本 県 愛知県の東側に行けば、山地が広がっており、南側に行けば豊かな海産物がとれる海が広がっている。また、伝統産業としては絞りやかからくり細工、陶磁器などが非常に有名。芸術については、今年は3年に一度のトリエンナーレも開催される。
- 訪問団 愛知県は工業県と聞いており、工場も多いが、空気がきれいだと感じた。工場環境基準などはどうなっているのか。
- 本 県 日本も1970年代に公害が問題となり、その後厳しい環境基準が設定された。排ガス規制なども年々厳しくなり、環境保護に力を入れてきた。

### ・11:30-11:50 知事表敬訪問

- 1 場 所 公館
- 2 本県出席者 知事、近藤部長、加藤国際監、兼松課長、川原主幹（着席者のみ記載）
- 3 内 容  
知事挨拶、訪問団自己紹介、歓談、記念撮影、記念品贈呈

#### 【主な歓談内容】

- 知事 高校何年生の生徒が多いのか。新学期は何月からか。
- 訪問団 高校2、3年生が多い。新学期は6月から始まる。
- 知事 日本に来るのは初めてか。
- 訪問団 日本に観光に来たことがある。（3名）（訪問先は京都、静岡、長野、福岡など）



知事からの  
歓迎あいさつ



訪問団 自己紹介



庭にて記念撮影

・ 13:00-14:00 名古屋城見学、バンコク都国際課長との打ち合わせ

1 場 所 名古屋城、地域振興部次長室

2 出席者

(1) 名古屋城 訪問団高校生、ポンナリン外交事務官

(2) 打合せ 本県出席者 加藤国際監、兼松国際課長、佐治課長補佐

バンコク都出席者 ノンラック国際課長、ロスコーン外交事務官

3 内 容

<名古屋城見学>

天守閣や本丸公事復元工事現場などを見学した。



おもてなし武将隊と  
記念撮影

2 グループに分かれ、  
城内を散策



<打合せ>

愛知県・バンコク都の両地域における今後の交流について意見交換を実施した。

・ 14:20-15:00 日泰寺見学

タイとのつながりが深い日泰寺を訪問し、本堂内で焼香を行った。



本堂内にて記念撮影



1人ずつ焼香

・ 15:30-17:00 名古屋大学訪問

- 1 場 所 名古屋大学CALEフォーラム、名古屋大学博物館
- 2 応対者 国際アドミッションオフィス安藤氏、法学研究科 曾根氏、タイ人留学生5名 等
- 3 内 容
  - 15:30-15:55 名古屋大学や留学プログラムについての説明
  - 15:55-16:30 タイからの留学生との懇談
  - 16:35-17:00 名古屋大学博物館の見学

## <大学や留学プログラムについての説明>

### 【説明内容】

- ・学生総数は約 17,000 人でそのうち留学生は約 1,800 人。名古屋大学に留学しているタイ人の学生は 23 名。タイにも協定校がある。
- ・ノーベル賞受賞者を 4 名輩出しており、研究活動に力を入れている大学である。
- ・留学プログラムでは留学生と日本人帰国子女を対象としている。理工系で 4 つ、文系で 2 つのプログラムがある。
- ・学士のカリキュラムは 4 年のプログラム。年次が進むにつれて専門分野や研究の時間が増えるが、特に 1 年目は日本語の授業が多く行われるので、日本での就職活動にも対応できる。クラスサイズが小さく、毎年各プログラムで 10~15 名程度。また、大学院のカリキュラムもある。
- ・入試については、高校を卒業していること、英語の教育を受けていることが必要。
- ・名古屋大学での授業料は日本人も留学生も同じで、アメリカ、イギリスなどと比べて安い。生活費を含んでも大体年間で 150 万円程度となっている。また、奨学金も提供しており、全員応募できる。学業成績や経済状態を基に選考している。受給者には年間 50 万円支給され、学費や入学金も免除される。

### 【質疑応答内容】

訪問団 奨学金の支給人数には制限があるか。

職員 制限はあるが、大体 25~30%の人が受給している。

訪問団 奨学金を受けることでどんな義務が生じるのか。

職員 奨学金の返還は不要だが、留学プログラムの広報への協力などをお願いしている。

## <タイからの留学生との懇談>

### 【懇談内容】

- ・名古屋大学に在学する留学生等 5 名と懇談を行った。(内容は留学動機などの自己紹介、留學生活について、質疑応答)
- ・留学生の多くは、名古屋はとても住みやすい街であり、大好きだと述べた。
- ・日本での留學生活に不安を覚えている高校生に対し、名古屋大学ではタイからの留学生が 20 名程度であるため、つながりが深く支え合っているとの回答がなされた。
- ・日本語ができない状況で留學することへの不安に対しては、基礎知識は母国語で学んだ方が身につけやすいので、大学卒業後に日本の大学院に留學し、英語でより高度な研究等を行うほうが良いとの助言がなされた。

## <名古屋大学博物館の見学>

特別展を行っていたクジラの展示を中心に博物館内を見学した。



留学生の先輩に対し、将来留学を考える上での不安などを相談した



留学生からは、自身の経験を踏まえた助言がなされた



クジラの骨格標本を見ながら説明を受けた

## 第2日目 4月18日(木)

### ・11:00-17:00 岡崎高校訪問

- 1 場 所 愛知県立岡崎高校
- 2 応対者 岩間校長、加藤教頭、村上教頭、三井教諭、稲垣教諭ほか各授業担当教諭
- 3 内 容
  - 11:00-11:30 校長挨拶、日程説明、岡崎高校概要説明、歓談
  - 11:45-12:35 授業体験(1)(第4限)
  - 12:35-13:10 生徒会執行部と昼食
  - 13:15-14:05 授業体験(2)(第5限)
  - 14:15-15:05 校内見学及び授業参観
  - 15:10-15:40 休憩
  - 15:40-16:00 ポスター発表
  - 16:00-17:00 部活動見学

<校長挨拶、日程説明、岡崎高校概要説明、歓談>

#### 【校長挨拶要旨】

- ・「授業」「学校行事」「部活動」を教育活動を行う上で重視し、徹底している。
- ・スーパーサイエンスハイスクール(以下、SSH)に指定されて12年目となる。
- ・生徒同士の交流を深めてほしい。

#### 【岡崎高校概要説明】

- ・2年生から文系、理系に分かれて授業を行っている。
- ・部活動もさかんで、特にコーラス部が非常に有名であり、毎年全国大会に出場している。
- ・昨年度は一部の生徒がイギリスでの研修に参加し、英語でポスター発表を行った。
- ・県で最初のSSHに指定され、大学との連携も進めてきた。数学や理科学科目の強化以外にも、英語で理系科目を教える授業も行っている。

#### 【歓談内容】

訪問団 岡崎高校はこの地域の中でも入学が難しい学校か。

高 校 この地域の中ではそうであり、岡崎市だけでなく、周辺の市からも入学希望者が多い。

訪問団 SSHに指定される前は、何か別の指定を受けていたのか。

高 校 特に指定などは受けていない。

<授業体験(1)、(2)>

バンコク都の生徒たちは2人ずつに分かれ、第4限、第5限それぞれ5つのクラスに入り、英語と理数科目の授業を一つずつ体験した。授業の冒頭では自己紹介を行い、また、一部の授業ではタイ語の表現を日本の生徒達に教えて練習するなどの時間が設けられた。



クラス全員の前で  
自己紹介



サポート担当の生徒の  
隣で授業に参加



一つの表現を英語を介して日本語、タイ語で表現し、理解し合う

<校内見学及び授業参観>

第6限の時間は、校内見学をし、その後芸術や体育の授業を見学した。



図書館で日本語の本を見る

<ポスター発表>

授業後は、生徒がイギリスでの研修で実施した、ポスター発表が行われた。テーマは「エネルギー保存の法則について」、「短歌と俳句の魅力について」、「日本の城について」の3つであった。



物理実験の結果を英語で説明

日本の文化や有名な短歌、俳句を紹介



<部活動見学>

コーラス部、吹奏楽部、剣道部、バレー部、弓道部、SSH部などの見学を行った。コーラス部では歓迎のミニコンサートが行われ、SSH部では繭や植物を手にとりて観察した。



剣道部も見学



コーラス部による  
歌の発表



繭を手に取り、興味  
津々の様子

## 第3日目 4月19日（金）

### ・ 10:00-10:30 岡崎市長表敬訪問

- 1 場 所 岡崎市役所第2来賓室
- 2 岡崎市出席者 内田市長、高田市民生活部担当部長、梅村市民協働推進課長、太田国際班班長
- 3 内 容  
訪問団自己紹介、市長あいさつ、訪問団あいさつ、歓談、記念撮影

#### 【歓談内容】

- 市 長 日本語がとても上手だが、学校で勉強したりしているのか。  
訪問団 自分は学校で勉強しており、3年間くらい勉強している。（訪問団のうち1名）
- 太田主幹 岡崎高校はどうだったか。  
訪問団 とても楽しかった。勉強の仕方や日本の教室の様子がとてもよくわかった。
- 市 長 タイの学校と大きく違うところはあったか。  
訪問団 日本の授業は授業中に色々な活動があるところがおもしろかった。



前日訪問した岡崎高校  
の感想なども報告した

内田市長を囲んでの  
記念撮影



・ 10:45-12:20 岡崎公園視察（岡崎公園、家康館、岡崎城）

岡崎公園内や家康館、岡崎城を見学した。



家康館にて兜や甲冑、刀  
などを着用

貴重な体験に大変喜び、  
さかんに写真撮影をしていた



・ 13:30-14:20 八丁味噌の郷見学

八丁味噌の製造工程及び歴史を学び、様々な種類の味噌を実食した。



実際に味噌を製造している  
味噌蔵も見学

・ 15:00-16:30 株式会社マキタ訪問、見学

- 1 場 所 株式会社マキタ岡崎工場
- 2 応対者 人事部主事大門氏、岡崎工場総務課長平岩氏、岡崎工場所属のタイ人社員1名
- 3 内 容

会社概要説明DVD鑑賞、工場見学、ねじ締め体験、商品見学、歓談

株式会社マキタの歴史やタイなどの海外展開状況についての説明を受け、その後岡崎工場内を見学した。ネジ締め体験を行うとともに、商品ショールームを見学して商品についての知識を深めた。その後、マキタに所属しているタイ人社員等と歓談を行った。



インパクトドライバーを用いてネジ締め挑戦



タイ人社員（後列右から2人目）に、マキタに就職したきっかけなどを質問した

・ 18:00-19:30 歓迎レセプション

- 1 場 所 岡崎オーワホテル バンケットホールセゾン
- 2 出席者 バンコク都高校生訪問団、訪問先関係者（岡崎高校、株式会社マキタ）、ホストファミリー、愛知県（近藤部長、佐治課長補佐はじめ7名） 計 34 名

3 内 容

- ・ 部長歓迎挨拶、バンコク都課長返礼挨拶
- ・ 生徒自己紹介、ホストファミリー紹介
- ・ 乾杯（岡崎高校岩間校長）、歓談、記念撮影

ホストファミリーと対面し、その後一緒に食事を取り、親交を深めた。また、ホストファミリーだけでなく岡崎市内での訪問先の方々にもご出席いただき、訪問団受入のお礼を述べた。



ホストファミリーとの対面

訪問団、ホストファミリー、  
訪問先関係者での記念撮影



ノンラック国際課長から近藤  
部長への記念品（飾り皿）

**第4日目、第5日目** 4月20日（土）、21日（日）

・ホームステイ

名古屋市、岡崎市、高浜市、大府市内の4家庭でホームステイを行い、ホストファミリーとともに県内の様々なところを訪れた。（トヨタ博物館、犬山城、トヨタスタジアム、名古屋港水族館、ラグーナ蒲郡など）



ホストファミリーの子どもが所属する劇団を見学



着物を着て犬山を散策

**第6日目** 4月22日（月）

・中部国際空港へ移動、帰国（TG645）



(3) ホームステイ

( )

4. 滞在期間中、困ったことや不便に感じたことがあれば、記入してください。

( )

5. このような交流事業を来年以降も実施することを検討していますが、どのようなプログラムがあると良いと思いますか？チェックしてください（いくつでも）。

- (1) 博物館や美術館などの訪問
- (2) 伝統芸能の鑑賞・体験
- (3) 地元企業の訪問
- (4) 高校生や大学生との交流
- (5) ホームステイ
- (6) その他 ( )

6. 日本・愛知県の魅力はどんなところだと思いますか？

例：歴史、食べ物、ものづくり産業、ポップカルチャー（ファッション、漫画・アニメ）など

( )

7. 全体について、感想を記入してください。

( )

ご協力ありがとうございました！

# 「愛知県・バンコク都 高校生交流事業」 参加者アンケート回答まとめ

※【 】内は回答数。

## 1. どうして今回の交流事業に参加しようと思いましたか？

- (1) 国際交流に興味があるから【7】
- (2) 日本に興味があるから【7】
- (3) 家族や学校の先生に勧められたから【0】
- (4) その他【1】(新しい物事を学びたかったから)

## 2. 今回の訪問先の中で印象に残ったところはどこですか？

### a. 県庁【1】

主な理由：日本で初めて訪れた場所だから。

### b. 名古屋城【4】

主な理由：日本の歴史だけでなく、面白い話も聞いて多くのことが学べた。

日本の建築に興味があるから。

美しく、歴史があり、良い写真も取れたから。

### c. 日泰寺【0】

### d. 名古屋大学【2】

主な理由：現役・元タイ人留学生と話すことができたから。

とても興味深く、有益な情報も得られた。

### e. 岡崎高校【10】

主な理由：生徒はとても優しく、フレンドリーだったから。(同様の理由他5人)

文化交流だけでなく、日本の教育システムを学ぶことができた。

暖かく迎えてくれたから。

### f. 岡崎市役所【0】

### g. 岡崎公園【6】

主な理由：景色がきれいで、街の歴史も印象的だ。歴史的建物も美しかった。

徳川家の歴史を学ぶには一番良い場所だ。

公園がとても美しかった。

### h. 八丁味噌の郷【0】

### i. マキタ【2】

主な理由：企業のツアーができ、工程もわかって面白かった。

### j. 歓迎レセプション【4】

主な理由：ホストファミリーに初めて会った場所だから。感動的な瞬間だった。

雰囲気良かった。

### 3. 以下のプログラムの感想を記入してください。

#### (1) 名古屋大学訪問

- ・ 今回の訪問先の中で一番印象的だった。日本の教育システムや講義・勉強の仕方が分かった。
- ・ 良かったが、日本についたばかりで疲れた。
- ・ 自分の大学生活や専攻について考えるきっかけになった。タイ人留学生の先輩が話しに来てくれたことに感謝している。
- ・ 鯨の展示が面白かった。
- ・ 先輩方のアドバイスは有益でよかった。日本で勉強したいと思うようになった！
- ・ 名古屋大学で勉強すること、また留学することについて知ることができた。

#### (2) 岡崎高校訪問

- ・ 自分の世話もとても良くしてくれた。クラブはどれもすばらしい！先生方は自分たちのために授業をよく準備してくれた。
- ・ 生徒・先生はとても暖かく迎えてくれた。すばらしい思い出になった。
- ・ この訪問の中で一番好きな場所になった！
- ・ 一緒に勉強したり、彼らの活動を見学したりして、とても楽しめた。もっと彼らと一緒にの時間や活動に参加する時間を作るべきだ。
- ・ すべてが興味深かった。でも、教室での時間が、例えば 2,3 時間あれば、生徒とももっと近づけて良かったと思う。
- ・ 岡崎高校の生徒はとてもフレンドリーで、皆が勉強やクラブ活動に熱心だった。先生方も熱心で、ずっとこのように取り組んでほしいと思う。
- ・ 同世代の生徒と出会うことができたので、コミュニケーションや交流がしやすかった。英語が上手く話せない人もいたが、皆優しかった。友達がたくさんできた。
- ・ 岡崎高校を訪れることができて興奮した。いつか日本で勉強したいと思う。

#### (3) ホームステイ

- ・ いつも自分たちのお世話をしてくれた。奥さんは優しく自分たちがどんなことをしても笑顔だった。お互いの言語は分からないけれど、理解しあえた。
- ・ とても良かったが、ホストファミリーがほとんど英語を話せなかった。だから、彼らと会話をすることはとても難しかった。
- ・ ホストファミリーはすごく良かった。自分たちの子どものように世話をしてくれた。
- ・ 家族はとても面白くて、特にお母さんは、タイやタイの文化についてよく知っていた。日本の文化もたくさん教えてくれた。とても感謝している。
- ・ ちょっと短すぎると感じた。家族はとても暖かくて優しく、すごくよく世話をしてくれた。
- ・ 期間が短かったということ以外は、全てが完璧だった！
- ・ すばらしかった。食べ物も全部おいしかった。特に魚がおいしかった。
- ・ たくさんの場所に連れて行ってもらったし、文化の交流もできた。一番の思い出だ！
- ・ 言葉にできないくらい素敵なホームステイになった。彼らはとても優しく、フレンドリーで、自分の世話をとてもよくしてくれた。また日本にくる機会があれば家族に会いたい。

4. 滞在期間中、困ったことや不便に感じたことがあれば、記入してください。

- ・ ホストファミリーが英語を話せなかったので、コミュニケーションが少し大変だった。
- ・ ホストファミリーに2歳の娘さんがいて、少し疲れた。
- ・ 訪問先には歴史や情報を教えてくれるスタッフがいて、英語の通訳でも OK だが、タイ語にもっと訳してほしい。

5. このような交流事業を来年以降も実施することを検討していますが、どのようなプログラムがあると良いと思いますか？チェックしてください（いくつでも）。

- (1) 博物館や美術館などの訪問【5】
- (2) 伝統芸能の鑑賞・体験【5】
- (3) 地元企業の訪問【5】
- (4) 高校生や大学生との交流【10】
- (5) ホームステイ【10】
- (6) その他【0】

6. 日本・愛知県の魅力はどんなところだと思いますか？

- |                       |           |
|-----------------------|-----------|
| ・ 自然・気候（同様の回答7人）      | ・ 博物館（1人） |
| ・ 人の性格・礼儀正しさ（同様の回答6人） | ・ 工場（1人）  |
| ・ 食べ物（同様の回答4人）        | ・ 文化（1人）  |
| ・ 歴史（1人）              | ・ 全て（1人）  |

7. 全体について、感想を記入してください。

- ・ 完璧だった。前よりも日本が好きになった。タイに戻ったら、すぐにでも日本語の勉強を始めたい。
- ・ 良かった。このプログラムで日本のことがよくわかった。
- ・ とても思い出に残る、貴重な経験になった。この訪問団に参加できて本当にうれしい。
- ・ 日本についてたくさんを経験し、学べた。タイと日本の文化交流もできた。この訪問団に参加できたことに感謝している。素晴らしい機会を与えてくれて、ありがとうございました。
- ・ 愛知の全ての面を見られた。工場、博物館に行ったり、自然を体験したり。ホームステイでは、文化や伝統を知ることでもできた。また、少し日本語も勉強できた。
- ・ ホームステイは文化を学ぶのにとっても良い。もっと長くするべきだ。スケジュールはシステムティックでよかった。ホテルもすばらしかった（ただ、一人部屋より二人部屋のほうが良い）。愛知のランドマークも見られた。
- ・ 訪問の期間が短すぎると思う。ホストファミリーとの時間や高校での授業参加の時間が長ければ、もっとたくさんの経験ができたはず。
- ・ 愛知県は高校生交流のために最善を尽くしてくれた。最高の事業だと信じている。

## アンケート - 岡崎高校 - (日本語版)

氏名 \_\_\_\_\_

岡崎高校訪問について、このアンケートに教えてください。

- 1 英語の授業見学はどうでしたか。
- 2 数学、生物、物理、化学の授業見学はどうでしたか。
- 3 授業見学の際に何か問題はありましたか。
- 4 どの部活動に興味を持ちましたか。参加したいものはありましたか。
- 5 日本の生徒達とコミュニケーションはとれましたか。
- 6 岡崎高校についてどう思いましたか。